

平成26年第1回豊能町地域公共交通会議議事概要

日 時：平成26年3月25日（火）午前10時30分から午後0時9分まで

場 所：豊能町役場 大会議室

出席者：委員15名・事務局2名

（詳細は別紙「平成26年第1回豊能町地域公共交通会議出席者表」のとおり）

傍聴者：なし

1. 開会

- (1) 午前10時30分に会長が開会し、過半数の委員出席による開催を確認した
- (2) 豊能町より挨拶があった

2. 委員及び出席者紹介

事務局より委員及び出席者の紹介があった

3. 【1】《報告》豊能町地域公共交通会議設置関係規定の改正等について

【2】《議題1》地域公共交通会議委員の追加について

- (1) 以下の事項について事務局より説明があった。

①「豊能町附属機関条例」制定に伴う地域公共交通会議の関係規定の改正について

②地域公共交通会議への能勢電鉄の参画について

- (2) 「能勢電鉄株式会社を地域公共交通会議委員として追加すること」について全員異議なしにより合意した

- (3) これより能勢電鉄株式会社（森田委員）が会議に参加した

4. 【3】《議題2》「豊能町地域公共交通基本構想」（案）について

- (1) 以下の事項について事務局より説明があった。

①策定の経緯

②「豊能町地域公共交通基本構想」（案）について

③パブリックコメント結果と意見の反映について

(2) 主な質疑、意見（特記以外は委員による発言）

・町議会で交通特別委員会が設けられ、能勢電鉄に関しては10分間隔運行の維持や阪急梅田直通便季節列車の実現にむけた働きかけといった意見があった。ときわ台駅のバリアフリーに関しては、構想案は短期計画に定めているが、早急に実現すべきとの意見があった。

阪急バスは北大阪ネオポリス線箕面トンネル経由便の早期実現や茨木方面への通学需要に応じたスムーズな乗継の実現という意見があった。

・パブリックコメントの回答案で収支開示は困難とあるが、利用状況の公表はどうか
⇒各路線について利用者数の推移や傾向を公表することは可能

・北大阪ネオポリス線は所要時間が長い。早期に箕面トンネル経由便を実現できないか。中止々呂美乗継便の社会実験運行という方法もある。

⇒箕面市域の利便性低下が問題となる。朝夕の数便などの検討はしているが結論は出ていない。東能勢線のダイヤ改正の際は、中止々呂美乗継による移動を考慮し、希望ヶ丘発着便の増を行った。

(事務局) 基本構想案の北大阪ネオポリス線箕面トンネル経由便は、長期計画に位置付けているものの、可能なものについては早期に実施するとしている。

・ときわ台駅のバリアフリー化を早期に実施できないか。大げさに考えているようだが、より簡単で具体的なことを考えるべき。スロープでよいのでは。

⇒利用者が右肩下がりで、ときわ台駅はピーク時の半分以下、2,800人程度となっている。利用者あつての設備なので、少子高齢化による利用者減に対して全体としてどう取り組むかを考える必要があり、現在町と勉強しているところ。

ときわ台駅は高低差が4m程度あり、国の基準に従ってスロープにすれば50～60mになってしまうため、機械に頼らざるを得ない。バリアフリー施設は設置費用だけでなくランニングコストや更新費用も必要。各事業者もその部分で苦慮している状況であり、バリアフリーの内容についてはそれらの長期的な部分にも注意しながら検討する必要がある。

・ときわ台駅までの坂の状況を考えると、車いすの場合など、他の駅へ車で行って利用するという事が考えられる。バリアフリーは必要か。

⇒バリアフリー設備は特定の人が利用するものではなく、町民全体の利益となるもの。

ただし内容は駅までの移動方法等も含めて考えることが必要

(3) 「豊能町地域公共交通基本構想」について案のとおりパブリックコメント意見による修正を行い、構想を決定することについて全員異議なしにより合意した。

5. 【4】《議題3》「豊能町地域公共交通基本構想」短期計画の実施にかかる協議等について

(1) 以下の事項について事務局より説明があった。

①リレー便の運賃にかかる法定協議について

②巡回バスの路線廃止について

(2) 主な質疑、意見（委員による発言）

・車両が阪急バス車両とおなじようなものなので、利用者の混乱を招かないような運賃が必要。

(3) 「リレー便の運賃」を案のとおりとすることについて全員異議なしにより合意した。

(4) 「巡回バスの路線廃止」を案のとおりとすることについて全員異議なしにより合意した。

6. その他

その他として次のような意見があった

・他市の事例で、福祉的サービスが膨らみすぎて、バス交通とあわせて考えたり、疲弊するタクシー事業もあわせて考えていく必要性が生じている。基本構想には記載がないが、今後重要となってくるタクシーや福祉的サービスの位置付けについても PDCA の中でも検討していく必要がある。

・阪急バスのホームページから乗継を含めた時刻検索がしにくかった。これは豊能町域だけの問題でも阪急バス単独の問題でもないので、関係市町と連携して改善されればよいと思う。

・ときわ台駅の整備についてはタクシー事業者も参加してはどうかという意見があったが、まさに地域公共交通会議の目的は様々な関係者が集まって力を出し合えることは無いだ

ろうかと協議することにある。

・構想の決定は入り口であり、今後小さいところから実行していき、みんなで取り組んでいながら継続的に見直していくことがこの計画のあり方である

7 閉会

- (1) 町より挨拶があった
- (2) 午後0時9分に閉会した